

令和5年厚岸町議会第2回定例会 令和5年度一般会計補正予算審査特別委員会会議録		
招 集 期 日	令和5年6月21日	
招 集 場 所	厚 岸 町 議 場	
開 閉 日 時	開 会	令和5年6月22日 午後5時10分
	閉 会	令和5年6月22日 午後5時29分

1. 出席委員並びに欠席委員

議 席 番 号	氏 名	出席○ 欠席×	議 席 番 号	氏 名	出席○ 欠席×
1	竹 田 敏 夫	○	8	石 澤 由 紀 子	○
2	室 崎 正 之	○	9	桂 川 実	○
3	佐 藤 淳 一	○	10	堀 守	○
4	金 子 勇	○	11	杉 田 尚 美	○
5	音喜多 政 東	○	12		
6	中 川 孝 之	○			
7	南 谷 健	○			
以上の結果 出席委員 11名 欠席委員 0名					

1. 議場に出席した事務局職員

事 務 局 長	議 事 係 長	
亀 井 泰	佐 藤 浩 之	

1. 厚岸町議会委員会条例第19条により説明のため出席した者の氏名

職名	氏名	職名	氏名
町長	若狭 靖	教育長	滝川 敦善
副町長	石塚 徹	教委管理課長	諸井 公
総務課長	布施 英治	教委指導室長	藏 光 貴 弘
総合政策課長	三浦 克宏	教委生涯 学習課長	川 越 一 寿
危機対策室長	四戸岸 毅		
税務課長	鈴木 康史	監査委員	黒田 庄司
町民課長	堀部 誠	監査事務局長(併)	亀井 泰
保健福祉課長	早川 知記	農委事務局長	江上 圭
環境林務課長	真里谷 隆		
水産農政課長	高橋 政一		
観光商工課長	田崎 清克		
建設課長	渡部 貴志		
病院事務長	星川 雅美		
水道課長	高瀬 順一		
会計管理者	塚田 敦子		

厚岸町議会第2回定例会議事日程

(5.6.22)

日程	議案番号	件名
		(令和5年度一般会計補正予算審査特別委員会)

# 厚岸町議会 令和5年度一般会計補正予算審査特別委員会会議録

令和5年6月22日  
午後5時10分開会

●委員長（佐藤委員） ただいまから、令和5年度一般会計補正予算審査特別委員会を開会いたします。

早速、審査を進めてまいります。

議案第36号 令和4年度厚岸町一般会計補正予算を議題といたします。

1 ページ、第1条は、歳入歳出予算の補正でございます。

2 ページ、3 ページは、第1表歳入歳出予算補正です。

6 ページ、7 ページは、事項別明細書でございます。

8 ページ、歳入から進めてまいります。

進め方は、款、項、目により進めます。

16款国庫支出金、2項国庫負担金、1目総務費国庫負担金。ございませんか。

(な し)

●委員長（佐藤委員） 2目民生費国庫補助金。ございませんか。

(な し)

●委員長（佐藤委員） 19款1項寄附金、1目一般寄附金。ございませんか。

(な し)

●委員長（佐藤委員） 進みます。

21款1項1目繰越金。

(な し)

●委員長（佐藤委員） 23款1項町債、6目土木債。

(な し)

●委員長（佐藤委員） 7目消防債。

(な し)

●委員長（佐藤委員） 以上で、歳入を終わります。

次に、10ページ、歳出に入ります。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費。ございませんか。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 8目社会福祉施設費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 10目諸費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 2項児童福祉費、4目児童福祉施設費。ございませんか。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 進みます。

5款農林水産業費、1項農業費、7目農業施設費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 10目諸費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 6款1項商工費、4目観光振興費。

2番、室崎委員。

●室崎委員 近年、厚岸町は道立公園から国定公園に昇格して、近隣の町と一緒にあって観光振興にこれから大いに力を入れていかなければならないというときだと思っております。その中で、鉄道、JR花咲線、これもまた大いに一躍を担ってもらわなければならないと、そのように考えているのですが、それは間違いないですね。

その上でなのですが、それに逆行するような話が出てまいりまして、ちょっと気になるものですから、そのことでお聞きしたいのです。6月21日の北海道新聞の記事なのですが、大きく出まして、花咲線の3駅、釧網線の2駅を廃止すると。我が厚岸町では、ついこの間、糸魚沢の駅を廃止したばかりなのですけれども、今度は尾幌の駅が廃止の名前が出ていると。非常に唐突な感じがしまして、こっちはびっくりしたのですが、町ではこのことはつかんでいましたか。

それから、このような事態について、それをどのように考えているか。また、その対応をどのように行おうとしているかご説明をいただきたい。

●委員長（佐藤委員） 町民課長。

●町民課長（堀部課長） お答えいたします。

6月21日北海道新聞の朝刊に載っていた記事でございますが、町としては一切JRのほうからは聞いていないという状況でございます。

また、この件につきまして、JR北海道、釧路支社のほうに確認したところでございますが、そういった公表はしないということでございます。

今後に対応としましては、必要な情報収集に努めてまいりたいと考えているところでございます。

●委員長（佐藤委員） 2番、室崎委員。

●室崎委員 ちょっと今肝心なところを聞きそびれたのだけれども、要するにJRとしてはそんなこと考えていないと言ったのですか。今の問いただしたところというところのくだりなのですが。そのような何とかはしていないと言っていると言うのですけれども、ちょっともう一度そこのところ、きちんと説明してください。

●委員長（佐藤委員） 町民課長。

●町民課長（堀部課長） お答えさせていただきます。

JRのほうに確認したところ、その駅の廃止については、具体的には検討はしていないということでございます。

もう一度説明させていただきます。JR北海道釧路支社に確認したところ、厚岸の尾幌駅等の42駅の廃止については、釧路支社の中では具体的には検討していないという状況でございます。

●委員長（佐藤委員） 2番、室崎委員。

●室崎委員 非常に大事なところだから、くどく聞きます。支社は知らないけれども、本社はもう廃止決めたのだという意味かもしれないと受け取ったということですか、今の話。あえて支社としてはと限定をつけて答弁をしたということは。新聞記事にこれだけははっきり出ているのです。それが、いわゆる出先に聞いたらよく分からないよと言ったからそれでいいのだという程度に押さえているということですか。JRとしてどう考えているかということをごきちんとつかんでいなかったら対策の立てようないでしょう。ちゃんと答えてください。

●委員長（佐藤委員） 町長。

●町長（若狭町長） お答えをさせていただきます。

この問題については、私も非常に怒っております。寝耳に水であります。糸魚沢駅廃止の場合は、あらかじめ町にも相談にまいりました。私といたしましては、地域にとっては重要な問題だと。地域住民の理解をいただきたいということで、何度も利用者との、糸魚沢含めた利用者との懇談をした結果、廃止ということで理解をいただいたところでございます。

今回の場合は全くありません。そういう中で、担当課長も報道があつてびっくりいたしまして、今お話のとおり、確認をいたしたところでございます。私といたしまして、この問題は重要な課題と考えておるわけでございます。

そういうことで、糸魚沢の例を今申し上げましたが、寝耳に水のことを今ここでとやかく、私としては、こうあだとか言うことはできません。私は今後のJR北海道の対応については直視しますが、仮にそういうことが事実とするならば、嚴重に抗議申し上げたい、そのように町長としては考えておりますので、ご理解いただきたいと思いません。

●委員長（佐藤委員） 2番、室崎委員。

●室崎委員 各地のいろいろなやり方を見ますと、こういうような話あちこちで聞くのです。地元の意向なんか全然関係なくて、自分たちの赤字、黒字の話、利用者の数の話、数字をぼんぼんと出してきて、ぼんといきなりアドバルーン上げておく。そうしておいて、それから一段落しに落しながら、最終的に持っていくところに持っていく。そういうもののやり方を随分あの会社はやるようなのです。そんなもののペースに巻き込まれたら大変ですので、町長、今嚴重に抗議するとおっしゃったのですが、私、今この予算費目だから観光から入っていますけれども、何言ってもあそこに暮らしている人たちの生活の生活の基盤そのものなのです。ですから、これはがっちり構えて、向こうのペースに巻き込まれたような話にならないように、どうか一つよろしくお願ひしたい。よろしくお願ひします。

●委員長（佐藤委員） 町長。

●町長（若狭町長） 私といたしましては、この問題については、町民課長がいろいろと今対応なさっております。特に上層部ともいろいろとお話をいたしておるところでございます。私はそのことを信じながら、これからの課題について、私自体町長として取り組んでいきます。そういうことで、回答とさせていただきますので、あえて私は糸魚沢の例を取ってお話をいたしたところでございますので、この点については理解していただきたい。私は当然そういう手続を踏んでくるであろうということを考えておりますので、JR北海道、昔のことを信じた答弁といたします。

●委員長（佐藤委員） 4目観光振興費、他にございますね。

7番、南谷委員。

- 南谷委員 観光振興費、4目で、この200万円でお尋ねをさせていただきます。説明資料に大変詳しく書いてあるのですけれども、新規事業でございますから改めて確認をさせていただきますと思います。

この説明資料によりますと、あつけしでたのしまないと実行委員会、商工会経由でこの実行委員会に200万円の事業費が繰り入れらさるという理解をさせていただいたのですが、それでよろしいのかどうか。

それから、今までも200万円を助成してきたのですけれども、これは新規計上になっているのです。その辺について、もう少し詳しく説明をしてください。ということは、その中でも本年度7月下旬に厚岸保育所跡地でサマーガーデンをやると、こういうことでございますが、この内容について、もう少し詳しく。

それから、さらには冬場に、来年の2月に宮園公園、今年も実施したのですけれども、これらも実施されると。大変厚岸町にとっても、私は実施してくれることは期待しておるのですが。せっかくの事業でございます。成功に終わらせていただきたいと思いますが。この内容について、もう少し詳しく説明をしてください。

- 委員長（佐藤委員） 観光商工長。

- 観光商工課長（田崎課長） まず、あつけしでたのしまないと実行委員会ということで事業を実施いたしますので、予算、歳出に伴います補助金につきましては、商工会ではなく、この実行委員会に直接お金を入れるという形になります。

今回、補正予算で新規計上という形になりましたが、あつけしでたのしまないと実行委員会、こちらにつきましては、既に皆さん方も名前ご承知かなと思うのですけれども、まちおこし補助金を使って、過去3年間、冬のフェスティバルだとか、夏の事業、こういうものやってきた団体であります。

このたび、まちおこし補助金につきましては、事業立ち上げから3年というようなルールの中で、その期間を得て、次の財源等いろいろ考えながら、自主的にその後も事業が継続できるようにというような、最初の段階での、ある意味町からの助成というような位置付けがちょっと強いのですけれども、4年目ということで、まずまちおこし補助金では対応しないということで、では、この団体が行う事業はどのようなのだというような議論をさせてもらいました。

今年で言いますと、2月に宮園の運動公園で花火を上げて、コロナ禍まだ終わってはいませんでしたけれども、焼き肉等々、いろいろやって、かなり町並びに町外からの誘客の数があり、盛大に盛り上がった事業でもありました。町といたしましては、この団体、当初の段階から10年程度はやはり、このようなまちおこしに関する事業をやって町を盛り上げていきたいというような気持ちを持った中での団体並びに事業でありましたので、この4年目につきましては、政策的にやはり補助金を出して、町を盛り上げていただきたいというような気持ちの中から、このたび、6月補正で予算を計上したというような内容になっております。

なお、今年度行う事業につきましては、夏と冬の二つの事業を考えていると。夏につきましては、昨年につきましては、実は役場の駐車場のところでやっていた事業を今年については湖南地区側、旧厚岸保育所の跡地、今壊して駐車場になっておりますけれども、湖南地区側でこの事業のほうを夏はやっていききたいと。ここにつきましては、いろいろ食べるもの、飲み物等々の販売をはじめ、子ども向けの縁日開催や、あとステージのイベント、ダンスやカラオケ等々、こういうものを作って、湖南地区のほうで事業を開催し、終わったら湖北地区側へ無料のシャトルバスを運行して、自宅までは送りませんけれども、今度は夜は湖北地区での飲食店を利用してもらえるようにということで、湖北から湖南に会場を変えて今年はやりたいと。

それと、冬のイベントであります。冬のイベントにつきましては、今のところ2月を予定しております、こちらは前年同様、宮園運動公園で湖北を中心にして花火並びにキッチンカーや寒空の中での寒中焼き肉等々を行って、また子どもたち向けの、例えば滑り台を設置したり、いろいろ雪中探しだとか、そういう子ども向けのイベントのほうを開催していききたいというようなところであります。

団体いわく、今までは湖北地区中心でやっていたものを、これからは湖南と湖北、それぞれで春、夏と冬に向けて開催して、両方の地域を盛り上げていきたいのだというような気持ちの中で今年度の事業を考えているといったような内容でございます。

- 委員長（佐藤委員） 4目観光振興費、他にありませんか。

（な し）

- 委員長（佐藤委員） なければ、進みます。  
5目観光施設費。

（な し）

- 委員長（佐藤委員） 6目諸費。

（な し）

- 委員長（佐藤委員） 7款土木費、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費。ございませんか。

（な し）

- 委員長（佐藤委員） 2目道路新設改良費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 3項河川費、1目河川総務費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 6項住宅費、2目住宅管理費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 8款1項消防費、1目常備消防費。ございませんか。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 9款教育費、6項保健体育費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 2目社会体育費。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 20ページから21ページまでは給与費明細書でございます。

以上で、歳出を終わります。

再び、1ページにお戻りください。

第2条地方債の補正です。

地方債については、4ページの第2表と地方債補正と、5ページの地方債に関する調書補正です。

ございませんか。

（な し）

●委員長（佐藤委員） 総体的にございませんか。

（な し）

●委員長（佐藤委員） なければ、以上で質疑を終わります。

お諮りいたします。

本案は、討論を省略し、原案のとおり可決すべきものと決するに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 委員長（佐藤委員） 異議なしと認めます。  
よって、本案は、原案のとおり可決すべきものと決しました。
  
- 委員長（佐藤委員） 以上で、令和5年度一般会計補正予算審査特別委員会に付されました補正予算の審査は、全部終了いたしました。  
よって、令和5年度一般会計補正予算審査特別委員会を閉会いたします。

午後5時29分閉会

以上のように会議の次第を記載し、ここに署名する。

令和5年6月22日

令和5年度一般会計補正予算審査特別委員会

委員長